

SLが見守る、みんなの『日常』の憩いの場へ。 高沢公園をより安心・快適に再整備します！

高沢公園は昭和38年の開設以来、市内最大の街区公園として親しまれてきました。現在は複合遊具やトイレの整備を経て、未就学児～高齢者まで幅広い世代が日常的に集う、地域に寄り添った憩いの場となっています。しかし、開設から60年が経過し、成長した樹木が死角を生んでいるエリアの防犯対策は、地域住民が安心して過ごすための喫緊の課題です。

本事業では、現在樹木で覆われ通路となっている公園南東エリアを中心とした再整備を起点に、安全性の確保と利便性の向上を図ります。これは単なる施設の修繕に留まらず、周辺の大型商業施設建設など、新たなまちづくりの動きと呼応するものです。高沢公園がエリアの結節点となり、新たな賑わいと交流を創出することで、次世代に引き継ぐべき「沼津の原風景」としてのエリアの価値向上を目指します。

関連施策との連携

- ◎第5次沼津市総合計画 → 沼津市の将来像を定めた最上位計画との適合
- ◎第2次沼津市緑の基本計画 → 「つかう緑」の具現化
- ◎沼津市パークマネジメントプラン → 持続可能な共創管理の推進

現在の使われ方

高沢公園は、主に「遊具エリア」「広場エリア」「SL展示」の3つの空間で構成されています。

●多世代が交流する遊具エリア



●活動的な広場エリア



●歴史を伝えるSL展示



再整備における課題

現在は樹木の繁茂による死角や、休憩施設の不足により、広大な敷地のポテンシャルが十分に活かされていません。また、長年の改修で統一感を欠いた景観も課題です。再整備では、見通しを改善して防犯性を高めるとともに、誰もが気軽に滞在できる動線と統一感のあるデザインを導入し、まちの顔として誇れる空間へと再生します。

2. 滞在性を高める仕掛けと動線の最適化



1. 公園内の見通し改善と安心感の向上



3. 景観デザインの統一と魅力の再定義



整備コンセプト

SLが見守り、暮らしを育む高沢公園

地域住民が日常的に訪れ、多様な人と出会い、交流しながら、ゆったりと憩うことができる空間を目指します。また、公園全体に開放的で心地よい雰囲気を生み出すことで、誰もが安心して過ごすことのできる環境づくりを行います。

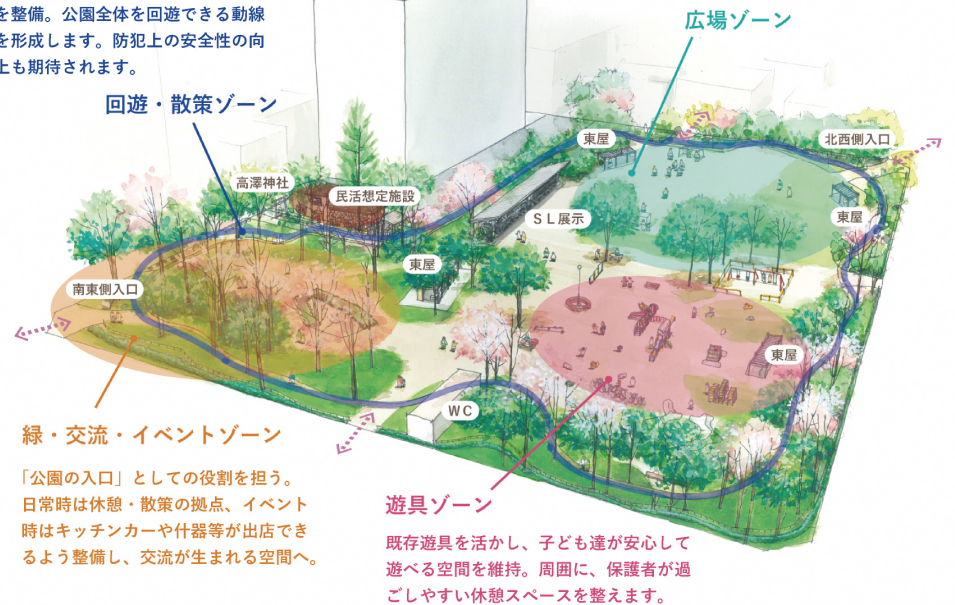
整備の方向性 コンセプトの実現に向けて、以下のポイントに注力して再整備を進めます！

1. **見通しの確保** アイレベルの見通しを見直し、安全性・開放感を確保。広がりのある空間を演出。
2. **回遊性の向上や防犯対策** ランニング等ができる外周路を整備。自然な「人の目」を生み出す。
3. **周辺との調和** 安全に考慮しつつ、境界線を曖昧に。周辺環境との穏やかな関係性を創り出す。
4. **デザインの統一** 公園全体として統一感のあるデザインへ。景観としての魅力向上を図る。
5. **民間活用の可能性を検討** 既存建物を活用し公園施設（カフェ等）の導入を検討。交流の拠点へ。
6. **居場所空間の確保** 東屋のような、休憩・食事・交流等の多様な使い方ができる滞在空間を整備。

空間デザイン及びレイアウト

外周にランニング等ができる外周路を整備。公園全体を回遊できる動線を形成します。防犯上の安全性の向上も期待されます。

自由な活動が可能なおとして現在の空間構成を活かしつつ、ベンチや東屋を配置して滞在性を高めます。



イメージ図

1. 南東入口付近（日常利用時）



既存の縁石をなくした、なだらかな芝生が広がる開放的な入口へと生まれ変わります。人と人との交流が自然と生まれ、公園の奥へと誘うような、心地よい滞在空間を創出します。

2. 南東入口付近（イベント開催時）



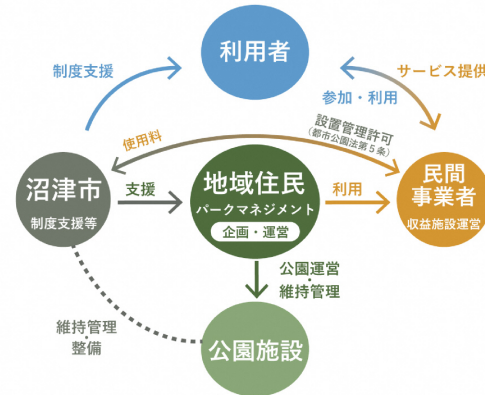
キッチンカーや出店用什器が並び、木陰や芝生などの豊かな緑に囲まれた賑わいの場となります。日除けとなる樹木が心地よさを生み、広場全体に活気あるまちの風景を広げます。

整備後の公園管理運営方法（案）

限られたリソースで公園の質を維持するため、長年活動を続けてきた地元愛護会等の地域団体を大きな財産とし、民間事業者の専門性やアイデアを取り入れた持続可能な管理運営体制への転換を目指します。

具体的には、行政、地域住民、民間事業者、利用者がそれぞれの役割を担い、相互に連携する「共創型」の運営管理を推進します。民間事業者のノウハウや資金を活用した施設管理・サービス提供により、利便性の向上と維持管理の質を両立させます。

単なる清掃・保守に留まらず、日常的な利活用を通じて利用者自らが公園への愛着を育み、共に守り育てていく仕組みを構築します。多様な主体が主体的に関わり続けることで、常に良好なコンディションを保ち、次世代に引き継がれる持続可能な公園運営を実現します。

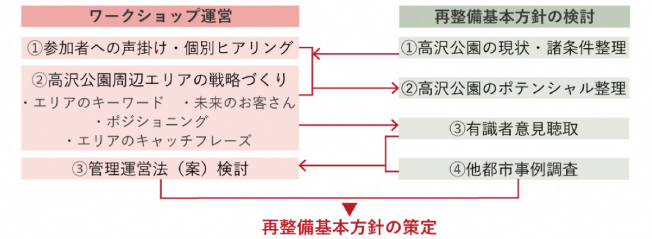


これまでのプロセスと今後の再整備スケジュール

本基本方針の策定にあたっては、エリアをポジティブに捉える地域住民や公園利用者、民間事業者など多様な主体が参加する、計4回のワークショップを開催。参加者との意見交換を通じ、「高沢公園周辺エリアリノベーション戦略」を策定。

本方針は、エリアリノベーション戦略の指針に基づき、より具体的な配置や機能を定める基本計画、詳細な設計、そして工事へと、市民の皆さまと共に着実に歩みを進めていきます。

◎「高沢公園周辺エリアリノベーション戦略」策定へ向けたプロセス



◎今後の再整備スケジュール

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
基本方針策定 ▲高沢公園周辺エリアリノベーション戦略策定	基本計画策定 ・配置計画 ・導入機能 ・空間構成の具体化	詳細設計 ・基本設計 ・実施設計	工事開始